

2026年版 参加チームへの注意事項(一般・OB)

大会要項及び本注意事項に記載されてある事項は、チーム全員に徹底すること。記載のない事項は、2026競技者必携のとおりとする。

◆競技運営に関する注意事項◆(競技者必携 P33~37)

1. ベンチは、組合せ番号の若い方を一塁側とする。ただし、1チームが2試合続けて行う場合はベンチの入れ替えは行わない。
2. ベンチに入れる人員は、登録されユニフォームを着用した監督30番、コーチ 29番・28番を含む選手25名以内と、チーム代表者、マネージャー、スコアラー、トレーナー(有資格者)各1名とする。
3. 打順表の提出は、その日の第1試合は開始予定時刻の30分前までに、第2試合以降は、前の試合の4回終了時(7回戦の場合)または、5回終了時(9回戦の場合)に監督または主将が大会本部に6部提出し、登録原簿と照合ののち、球審立会いのもと攻守を決定する。
※ 打順表には登録された選手全員を記入すること。
※ 大会指定の打順表用紙を試合前に配布する。
4. シートノックは、原則として行わない。
5. 試合開始前の時間が許す範囲内において、サイドノック及び外野サブノックの実施を認める。その場合、ノッカーにボールを渡す選手や野手からの送球をノッカー付近で捕球する選手及び外野手からの送球を補助する選手(中継者)は、ヘルメットを着用すること。
6. 球場内ではトスバッティングのみ認める。
7. 次の試合の先発バッテリーは、攻守決定後、競技場内のブルペンを使用することができる。
8. ベンチ内での電子機器類(携帯電話、パソコン等)の使用を禁止するが、電子スコア記録用として1台の使用を認める。指示用メガホンは、ベンチ内に限り1個の使用を認める。
9. 第2試合以降は、試合開始予定時刻前でも、前の試合が終了した後20分を目安に次の試合を開始する。
10. 試合開始予定時刻になっても会場に到着しないチームは、原則として棄権とみなす。
11. 雨天でも試合を行うことがあるので、必ず大会本部の指示を受けること。
12. 次のイニングに引き続き投げる投手のコーチボックス外野角からポール方向のファウルテリトリーでの軽いキャッチボールを認める。また、ブルペンでのキャッチボールは2組4名以内を認める。ただし、競技場の条件(広さ)によっては認めないこともある。

◆競技に関する連盟特別規則◆(競技者必携 P38~41)

1. 暗黒、降雨などで規定のイニングまで進まなくとも、9回戦試合の場合は7回を、7回戦試合の場合は5回を終了すれば試合は成立する。
2. 抗議権を有する者は、監督か当該プレイヤーのいずれか1名とする。

◆試合中の禁止事項◆(競技者必携 P57~59)

1. 競技前、中、後を問わず、相手側プレイヤーや審判員に手をかけたり、暴言を吐いたり、侮辱する言動を厳禁する。万が一このような事態が生じたときには退場を命じ、処分は競技者必携(P57)のとおりとする。
2. 選手や審判員に対する全てのヤジを禁止する。またスタンドからの応援団のヤジ及び目に余る行為はチームの責任とする。(競技者必携 P11-12 参照)
3. 競技場内(ベンチを含む)では、喫煙及びガム等を噛むことを禁止する。また、喫煙可能な場

所であっても、ユニフォームを着用しての喫煙は禁止とする。

4. 危険防止のため、足を高く上げてのスライディング等を禁止する。
5. 作為的な空タッグを禁止する。
6. 相手選手を威嚇する行為を禁止する。
7. プレイを利用して相手選手を欺く行為(アンフェアプレイ)を禁止する。(例: 競技者必携 P58)
8. プレーヤーが塁上に腰を下ろすことを禁止する。
9. 試合が開始されたら、控え選手は、むやみにベンチから出てはならない。投手の準備投球にあわせて素振りをするのを禁止する。(認められる事項: 競技者必携P59(1)~(3))
10. 次打者席では、投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。投手も必ず次打者席に入る。
11. 塁上の走者、あるいはコーチスボックスやベンチから守備側(捕手)のサインを盗み、それを打者に伝達すること、及び打者が投げ終わった球種を次打者他に知らせることを禁止する。

◆試合のスピード化に関する事項◆ (競技者必携 P59~62)

1. 試合のスピード化・マナーに関する確認事項(競技者必携 P15~16)を遵守し、試合のスピードアップを全員が励行すること。
2. 守備側タイムの際に監督またはコーチ等が投手のもとに行く場合、投手(内野手含む)に飲料水やタオル等を持参することができる。
3. 攻守交代時最後のボール保持者は、投手板にボールを置いてベンチに戻る。
4. 投手の 12 秒及び 20 秒ルールを遵守すること。(競技者必携 P9~10)
5. 打者のバッターボックスルールを遵守すること。(アマチュア内規②競技者必携 P88)
6. 投手は、ロジンバッグを指先だけで使用し、丁寧に扱うこと。
7. 四死球の打者走者が保護具をはずすときには、本塁周辺で外し1塁へ向かうこと。(ただしインプレイ状態の場合は、プレイを優先させて構わない。)
8. 内野手のボール回しは定位置で1回りとし、投手に返球するときは定位置から返球すること。

◆競技者のマナーに関する事項◆ (競技者必携 P63)

1. 捕手が投球を受けた時に意図的にボールをストライクに見せようとミットを動かす行為を禁止する。
2. 投手が投手板に触れて投球位置についたら、大きな声を発することなくプレイを見守ること。

◆用具・装具に関する事項◆ (競技者必携 P64~66)

1. 試合に出場する監督・コーチ・選手のユニフォーム、帽子は全員同色、同形、同意匠のものでなければならない。アンダーシャツ、ストッキングは全員同色のものでなければならない。
2. ユニフォームの上着はズボンに入れること。
3. 試合に出場する捕手及びブルペン捕手は、安全のためプロテクター、レガース、マスク(スロートガード付)、捕手用ヘルメット、ファウルカップを着用すること。

なお、準備投球及びブルペンで投球練習を捕球する選手は、捕手に求められる用具をすべて着用していない限り、立って捕球すること(出場中の内野手可)。

4. メディシングボール等、アップ、トレーニングのための補助具は打順表の提出までは使用することができる。ただし、メディシングボール等を球場フェンス等に投げ当てることを禁止する。
5. 捕手用マスクは SG 基準合格品を着用すること。

◆その他◆

1. 試合中のグラウンド内のファウルボールは、チームで回収してボールパーソンに渡すこと。
2. 試合が終了したチームは、次の試合のグラウンド整備に協力すること。